

手書き実技第2問文字起こし

ただ今ご紹介いただきました下出憲一と申します。本日はこんな会にお招きいただき、まことにありがとうございます。どうぞよろしく申し上げます。

最初に私が中国で日本語を教えるに至ったいきさつを申しあげたいと思います。私は学生時代から、中国語を第3外国語でとるなど、中国には関心を持っておりました。しかしながら、希望はしたんですが、仕事の上では残念ながら中国に関係することができませんでした。そこで定年後に中国に住んでみる方法を考えまして、40才のときに日本語教育能力検定試験、いわゆる日本語教師の資格試験なんですけれども、これを取りました。そして、その計画どおり、2010年から1年間、浙江省の浙江師範大学で日本語を教えていきました。私が1年間、この大都会でもない、とって田舎でもない、中国の標準的な都市で暮らしての一番の印象っていうのはですね、当時の人々の日本に対する好感度の高さ。対日好感度の高さなんですね。実はですね、中国人の目から見た日本人の印象っていうのは、まじめで礼儀正しい。これなんです。この大学には、日本の3つの大学との交換留学生制度というのがありまして、その留学生を選ぶための試験官をしたことがあります。受験生はですね、まるで日本には悪い人はいないような、憧れを口にいたしました。当時の人々の日本が好きだといいますかね、対日好感度。その高さを実感したんです。私が大学に歩いて通っていたんですけれども、その途中に大学の付属幼稚園がありました。毎朝その前をとおりますとね、日本語のままのドラえものの歌が流れているんです。へえ～日本語のままね、と、ちょっと驚きました。学生はですね、ちびまる子、これ大人気ですて、ちびまるこちゃんの絵をなんにも見ないで黒板にそっくりの絵をさっさっさと描きます。日本語クラスですので、あるとき、日本語の演劇大会を学生にさせました。そうしましたら、もちろんちびまるこやドラえもんといった定番、人気のドラマっていうかそれを演技したグループがいたわけですけれども、それ以外にですね、銀魂だとか、ラストフレンズだとか、私がまったく知らない日本のドラマをテーマにしているんで、驚きましたね。

アニメについて、ほんとに今、多くの学生がアニメが好きで日本を好きになったとよく口にしたんですけれども、ある学生もスピーチコンテストでアニメについてテーマ、アニメをテーマにしてお話ししました。その中で、こう言いました。日本のアニメは単に面白いだけではなくて、人々の心の中にまで入りこんで深みがあると。こういう評価をいたしました。中国にもアニメはあるんですけれども、ただただ面白いというだけで深みがないということのようですね。以上の話は日本語学科の学生の話ですので、みなさんお聞きになってですね、日本語学科の学生が日本が好きなのは当たり前でしょう。そう思われたと思います。しかし、実はそうではないんですね。他の学部の先生とか院生からもですね、私が学生と日本語で話していると、キャンパスの中で話しかけてきましてね。私も独学で日本語を勉強しました、と言う人が結構多いんですよ。だから日本語学科の学生だけでなく、他の学部の学生でもですね、日本語の歌が好きであったり、日本語を密かに勉強してたりということで、日本が嫌いだったらそんなことするわけないですもんね。あとですね、日

本の工業製品、おれから食品がすごく安全性が高いという、そういった信頼性の高さも中国人の間では相当なものです。ですから、これも日本が好きになる大きな要因だと思います。